

昭和20年		略	歴	摘要
月	日			
7	7			
7	31		軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。	
8	9		歩兵才二四〇連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。 奉天に移駐。	
8	10		二台子付近の陣地構築。	
8	15		停戦。	
8	20		奉天北陵において武装解除。	
8	22		道義屯に移動。	
8	31		北陵東北大学に集結。	
9	5		奉天作業才一四大隊（長 大尉 茂木 文彌）に編入。	
9	中旬		奉天出發。	
10	1		黒河經由入「ソ」。	
			隊長 大尉 高野 正太郎	

独立歩兵第七七五大隊略歴

通称号 奮闘才三七五〇三部隊

略 歴

摘要

0032

独立歩兵第七七六大隊略歴										
通称号 奮闘才三七五〇四部隊										
昭和	年	略歴								
20	年	略歴								
7	月	略歴								
7	日	略歴								
8	日	略歴								
7	7	軍令陸甲才一〇六号により編成下令。								
7	7	撫順において編成完結。								
8	8	歩兵才二四一連隊を基幹として在満応召者をもつて編成。								
8	8	奉天に移駐。								
8	8	停戦。								
8	8	奉天において武装解除。								
8	8	道義屯に移動。								
8	8	北陵東北大学に集結。								
9	9	奉天作業才一三大隊（長 杉山 少佐）に編入。								
9	9	奉天出發。								
10	2	黒河經由入「ソ」。								
隊長 大尉 鈴木 浅雄										

摘要

0033

昭和		年	月	日	略	歴	摘要
20	7						
10	9	9	8	8	8	8	8
2	12	10	31	20	20	15	14
							8
							31
							7
							7
							8

通称号 奮闘才三七五〇五部隊

独立歩兵第七七七大隊略歴

軍令陸甲才一〇六号により編成下令。  
撫順において編成完結。  
歩兵才二四二連隊よりの差出人員を基幹として在滿応召者をもつて編成。  
奉天に移駐。  
北陵において戦車壕構築。  
停戦。  
奉天（大平国民学校）において武装解除。  
道義屯に移動。  
北陵東北大学に集結。  
奉天作業才一三大隊および才一六大隊編入。  
奉天市皇姑屯駅出発。  
黒河經由入「ソ」。

隊長 大尉 大竹直一

0034

昭和		年		月		日	
				7	7	7	7
				8	8	8	8
				8	8	14	14
				19	19	19	19
				20	20	20	20
				31	31	31	31
				7	7	7	7
				9	9	9	9
				10	10	10	10
				2	2	2	2
				13	13	13	13
				7	7	7	7
				31	31	31	31
<p>独立歩兵第七七八大隊略歴</p> <p>通称号 奮闘才三七五〇六部隊</p> <p>略歴</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 才一〇八師団歩兵隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編隊。 奉天に移駐。 奉天において武装解除。 道義屯に移駐。 北陵東北大学集結。 奉天作業才一三大隊に編入。 奉天皇姑屯出発。 黒河經由入「ソ」</p> <p>隊長 大尉 中川 健次郎</p>							
摘要							

0035

昭 20		年 月 日	独立混成第一三〇旅団挺進大隊略歴 通称号 奮闘才三七五〇七部隊	
7 7				略 歴
31 8				
至	自			
10 9 9	9 8 8 8 8 8		軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 才一〇七師団歩兵隊等よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。 奉天に移動。 停戦。 奉天において武装解除。 道義屯に移動。 北陵東北大学集結。 主力は奉天作業才一五大隊（長 大尉 昆野英雄）に編入。 奉天出發。 黒河經由入「ソ」	
3 30 13	5 31 20 19 15 9			
隊長 中尉 土屋 源 一			摘 要	

0036

昭和20年		略	略	略		
月	日				略	略
7	7	軍令陸甲才一〇六号により編成下令。	<p>独立混成第一三〇旅団砲兵隊略歴</p> <p>通称号 奮闘才三七五〇八部隊</p>	<p>隊長 大尉 茂木文彌</p>		
7	31	撫順において編成完結。				
8	9	野砲兵才一〇七連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。				
8	9	奉天に移駐、奉天北方地区の陣地構築。				
8	15	停戦。				
8	19	奉天において武装解除。道義屯に移動。				
8	29	北陵東北大学に集結。				
9	5	奉天作業才一四大隊編入（長 大尉 茂木文彌）				
9	12	奉天皇姑屯出発。				
10	1	黒河經由入「ソ」				
		摘要				

0037

至自		昭 20	年 月 日	略 歴
10	9	9	7	軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 独立工兵才一二連隊、才四二野戦道路隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。 奉天に移駐、同地付近の警備。 停戦。 奉天において武装解除。 道義屯に移動。 北陵東北大学に集結。 主力奉天作業才一五大隊（長 大尉 昆野英雄）に編入。 奉天出發 黒河經由入「ソ」。
3	30	13	31	
			8	隊長 中尉 新妻胤義
				摘要

独立混成第一三〇旅団工兵隊略歴  
 通称号 奮闘才三七五〇九部隊

0038

略										年 月 日	
20											
10	9	9	8	8	8	8	8	7	7		
1	12	5	31	22	20	15	9	31	8	日	
隊長 中尉 南部 義 弘 奉天皇姑屯出發。 奉天作業才一四大隊編入（長 大尉 茂本文彌） 北陵東北大学に集結。 道義屯に移動。 奉天において武装解除。 停戦。 奉天に移駐。 在滿防空部隊よりの差出人員を基幹として在滿応召者をもつて編成。 撫順において編成完結。 軍令陸甲才一〇六号により編成下令。										略	歴
										摘	要

0039



至自		昭 20	年	独立混成第一三〇旅団輜重隊略歴 通称号 奮闘才三七五二一部隊
		7 7	月	
		31 8	日	
10 9 9 9 8 8 8 8 8	7 7	31 8	略	軍令陸甲才一〇六号により編成下令 撫順において編成完結。 独立輜重兵才六四大隊よりの差出人員を基幹として在滿応召者をもつて編成。 奉天に移駐。 停戦。 奉天において武装解除。 道義屯に移動。 東北大学集結。 奉天作業才一五大隊（長 大尉 昆野英雄）に編入。 奉天出発。 黒河経由入「ソ」。 隊長 大尉 昆野英雄
3 30 12 5 31 20 19 15 9	31 8		歴	
			摘要	

0040

至自		昭		年	月	日	略	歴	摘	要
9	9	8	8	8	8	8	7	7		
20	15	28	27	25	19	15	9	30	8	
<p>通称号 奮励才三七五五二部隊</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。</p> <p>錦州省錦県において編成完結。</p> <p>才一〇八師団司令部からの差出人員を基幹とし在滿応召者をもつて編成。</p> <p>通化省臨江に移動し陣地構築作業。</p> <p>臨江において停戦。</p> <p>現地召集者を解除、(現地召集解除者は集団で奉天、撫順、大連、錦県等それぞれの応召地へ向かい大部は中共地区より帰還、一部は市民狩りにより入「ソ」している。)</p> <p>主力は臨江出発。</p> <p>通化において武装解除。</p> <p>吉林省吉林に移動、吉林作業才二〇二、才二一〇、才二一一、将校各大隊に編入。</p> <p>黒河および琿春經由入「ソ」。</p>										

## 独立混成第一三四旅団司令部略歴

0041

旅団長  
少将  
後藤  
藤俊  
蔵

至自		昭										年月日	独立歩兵第七九一大隊略歴	
		20												略歴
		9	9	8	8	8	8	8	8	8	7			
		20	9	28	27	22	19	15	12	10	30	8	要	
隊長 大尉 田村輝展		<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。          錦州省錦県において編成完結。          歩兵才二四〇連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。          錦県出発。          通化省臨江着。          臨江において停戦。          現地応召者の大部分召集解除。          臨江出発。          通化において武装解除。          吉林省吉林に移動し吉林作業才二〇二、才二〇三、才二〇五、才二一一、各          将校大隊に編入。          黒河および琿春經由入「ソ」</p>												

0043

至自		昭	年	月	日	略	歴	摘	要
		20							
9	9	8	8	8	8	8	7	7	
20	9	27	24	19	15	13	9	30	8
<p>隊長 大尉 水沼浅男</p>		<p>黒河經由入「ソ」。</p> <p>吉林に移動、吉林作業才二〇一、才二〇二、才二二〇将校各大隊に編入。</p> <p>通化において武装解除。</p> <p>石人溝において現地応召者召集解除。</p> <p>臨江において停戦。</p> <p>陣地構築作業。</p> <p>通化省臨江県石人溝に移動。</p> <p>錦県出発。</p> <p>歩兵才二四二連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。</p> <p>錦州省錦県において編成完結。</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。</p>							

独立歩兵第七九二大隊略歴

通称号 奮励才三七五四部隊

略歴

摘要

0044

昭		年 月 日	独立歩兵第七九三大隊略歴	
20				通称号 奮励才三七五五部隊
7	7			
9	9	21	軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 錦州省阜新において編成完結。 歩兵才二四一連隊よりの差出人員を基幹として在滿応召者をもつて編成。 日「ソ」開戦により通化省渾江に移動。 渾江着。 停戦。 現地応召者召集解除。 通化において武装解除。 吉林にて作業才二〇一、才二〇二、才二一一将校各大隊に編入。 黒河および琿春經由入「ソ」。	
8	8	27		
8	8	19		
8	8	15		
8	8	12		
8	8	10		
7	7	30		
7	7	8		
至自				
				隊長 大尉 川原田 金 蔵
			略 歴	
			摘 要	

0045

至自		昭 20	年 月 日	略 歴	独立歩兵第七九四大隊略歴 通称号 奮励才三七五五六部隊
		7 7			
		30 8			
9 9	8 8	8 8			
21 15	27 24	23 17			
隊長 大尉 岩崎源茂		軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 錦州省阜新において編成完結。 歩兵才二四一、二四二連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。 通化省臨江着。 臨江において停戦。 現地応召者召集解除。 通化に移動。 臨江―通化間にて武装解除。 吉林作業第二〇一、第二〇二、第二〇三、將校各大隊に編入。 黒河経由入「ソ」。			
			摘 要		

0046

昭		年 月 日	略 歴						
20									
7	7								
9	9	8	<p>独立混成第一三四旅団挺進大隊略歴</p> <p>通称号 奮勵才三七五五七<sup>部</sup>林隊</p>						
8	8	8							
8	8	8							
20	17	27	25	15	12	10	30	8	<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。</p> <p>錦州省錦県において編成完結。</p> <p>才一〇八師団各歩兵連隊からの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。</p> <p>錦県出発。</p> <p>通化省臨江着、当地付近の警備。</p> <p>臨江において停戦。</p> <p>通化において武装解除、その後吉林に移動。</p> <p>吉林において作業才二〇二、才二一一各大隊に編入。</p> <p>黒河および琿春經由入「ソ」。</p>
<p>隊長 少佐 峰 岸 喜代志</p>									
<p>摘要</p>									

0047



昭和		年	月	日	略	歴	摘	要	
20	7								
9	9	8	8	8	8	8	8	7	
17	4	27	25	24	19	16	13	10	
<p>隊長 少佐 大江 政之助</p>		<p>吉林出発黒河経由入「ソ」</p>		<p>吉林省吉林に移動</p>		<p>通化において武装解除。</p>		<p>現地応召者召集解除。</p>	
<p>吉林省吉林に移動</p>		<p>通化において武装解除。</p>		<p>現地応召者召集解除。</p>		<p>臨江着。</p>		<p>通化省臨江県石人溝着。</p>	
<p>錦西出發。</p>		<p>砲兵才一〇八連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。</p>		<p>錦州省錦西において編成完結。</p>		<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。</p>		<p>昭和二十年七月三十日</p>	

## 独立混成第一三四旅団砲兵隊略歴

通称号 奮励才三七五八部隊

0048

昭和		年	月	日	略	歴	摘	要
20	7							
9	8							
17	28	25	19	15	11	10	30	8
<p>通称号 奮励才三七五五九部隊</p> <p>独立混成第一三四旅団工兵隊略歴</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。          錦州省錦西において編成完結。          才一〇八師団工兵隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。          錦西出發石人溝に移動。          通化省石人溝着。          臨江着、同地で停戦。          臨江において現地応召者召集解除。          通化に移動武装解除。          吉林作業才二〇二大隊（長 石川 中尉）に編入。          吉林発黒河經由入「ソ」。</p> <p>隊長 中尉 水鳥川 弘文</p>								

0049

昭和20年		年月日		摘要	
7	7	30	8	軍令陸甲才一〇六号により編成下令。	<p>独立混成第一三四旅団通信隊略歴</p> <p>通称号 奮励才三七五六〇部隊</p> <p>略歴</p>
7	7	11	8	錦州省錦西において編成完結。	
8	8	11	8	才一〇八師団通信隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。	
8	8	13	8	通化省通化に移動。	
8	8	15	8	通化出発。	
8	8	15	8	臨江着。	
8	8	22	8	在満召集者解除。	
8	8	25	8	通化において武装解除。	
8	8	27	8	通化出発。	
9	9	1	9	吉林着。	
9	9	5	9	吉林において作業才二〇二大隊（長 石川 中尉）に編入。	
9	9	17	9	黒河經由入「ソ」。	
隊長 中尉 西川 教 三					

0050

昭和20年		年月日		略歴	摘要
年	月	日	日		
	7	7	8	軍令陸甲才一〇六号により編成下令。	
	7	30		錦州省錦西において編成完結。	
	8	10		才一〇八師団輜重隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。	
	8	11		錦西出発。	
	8	11		通化省石人溝着。	
	8	13		石人溝移動。	
	8	15		臨江着。	
	8	19		在満召集者召集解除。	
	8	25		通化において武装解除。	
	8	27		吉林着、吉林作業才二〇二大隊に編入。	
	9	17		黒河經由入「ソ」	
				隊長 中尉 松谷喜代夫	

独立混成第一三四旅団輜重隊略歴

通称号 奮励才三七五六一部隊

0051

							年
					昭 20	昭 19	月
10	9	9	8	8	5	10	日
15	15	5	20	11	29	11	日
<p>黒河経由入「ソ」</p> <p>奉天出發</p> <p>奉天第二九作業大隊に編入</p> <p>主力は同日奉天省虎石台に移動</p> <p>一八名を武装解除地点に残置し兵器整理業務に従事せしむ。</p> <p>奉天にて武装解除</p> <p>この際約一五名四平に残置</p> <p>四平省四平に移動</p> <p>日「ソ」開戦により奉天省奉天に移動</p> <p>軍令陸甲第一三五号により編成下令</p> <p>戦車第二師団転用後その残留員を基幹として三江省勃利において編成完結</p>							概 要
							摘 要

## 独立戦車才一旅団司令部略歴

通称号 迫第一三〇四七部隊

0052

	11	11	9	10	9	9
	20	上旬	18	30	25	2
司令官 少将 阿野安里	満洲里經由入「ソ」	奉天出発	奉天第五九作業大隊に編入	奉天北陵に集結	奉天残置者の行動	黒河經由入「ソ」
					四平出発	四平第四作業大隊に編入
						四平に残置者の行動

0053